



春があっという間に過ぎ去って、早くもGWです。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

今号の写真は、3月24日の高尾山で撮ったタカオスミレ3兄弟です。このタカオスミレは、高尾山で最初に発見され発表された植物の代表格の一つでしょう。名前の頭にタカオが付けられていたり、葉の黒紫色が特徴的で判りやすいなどあって、高尾山に咲くスミレ

の中でも人気の高い花です。ただ最近では、独立した種ではなくヒカゲスミレの一品種、変種として扱われています。分類好きの人たちの間では、葉の表面が黒紫色、裏面が緑の個体をハグロスミレと分けているようですが、あまり意味がない細分化のようです（いかりまさ著『日本のスミレ』）。

さて、6月の確定表をお送りします。6月は梅雨入りの月です。先日、日本気象協会は今年最初の「2026年梅雨入り予想」を発表しました。西日本の梅雨入りは、平年並みか早い、東日本や北日本は平年並み。関東甲信越は6月上旬の梅雨入り見込みです。梅雨明けも、平年並みか早まる予想となっています。今年から猛暑日（35℃以上）を超える最高気温40℃以上の日を「酷暑日」とすることが発表されています。今年も夏本番の猛暑いや酷暑は、覚悟しなくてはならないようです。

長澤登山教室の6月は梅雨入り前の晴れを期待して、まずは高尾山です。イナモロソウの仲間のファイリイナモロソウやホシザキイナモリソウは、牧野博士によって高尾山で初めて発見された花です。うまく見つけることができるでしょうか。その他、6月でなければ出会えない花があります。今から梅雨の晴れ間となるように願うばかりです。

ロシアのプーチンと並んで、いまや世界のリスクとなっているのが、異形の大統領に引きずられているアメリカ合衆国です。民主主義世界のリーダーを演じていた過去があったことが信じられないほどです。外交交渉中に騙し討ちのように軍事攻撃を仕掛け、多くの民を殺害するというのは、どのように言い繕っても許されない犯罪に思います。

そんなトランプ大統領に抱きつき、媚を売る高市首相の姿をみなさんはどのように思われたでしょうか。トランプのアメリカは、話し合いや外交ではなく、力に物を言わせる弱肉強食の価値観に世界を引き摺り込もうとしている、世界のリスクそのものです。高市首相のあの姿は、日本を力づくの世界に導こうとしているように僕には見えています。

明治維新以来の日本は、あよそ10年毎に戦争を繰り返してきました。中でも1931年の満州侵略からの14年にわたる戦争は、どれほどの多くの人々を死に追いやり、不幸のどん底に突き落としたことか。戦後80年、曲がりなりにも平和日本でいられたのは、思想信条は違えども、多くの人たちは戦争への強い否定と平和を希求していたことの表れではないでしょうか。

力が物を言う、弱肉強食の時代になりかねない今だからこそ、「平和日本」の80年の歴史の重みがより光を放っているように、僕には思えてなりません。

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！